

## プラハ日本人学校 プラハウォークラリーについて

プラハ日本人学校 教諭 宗定雅之

8月24日に2学期がスタートしました。

2学期最初の大きな現地理解活動として、プラハウォークラリーが30日に行われました。プラハ日本人学校では、2学年もしくは3学年合同で市街地等を歩きます。

私が担任している4年生は、3年生と合同で、30人が6グループに分かれて、プラハの旧市街を中心に歩きました。課題集と簡単な地図を片手に5人グループで歩きます。学校から公共交通機関を使い、市街地に設定されているスタート地点まで

行きました。今回は公共交通機関のトラブルがあり、なかなかスタートへたどり着くことができないというハプニングがあり、少し混乱しましたが、みんなで協力してスタート地点までたどり着くことができました。

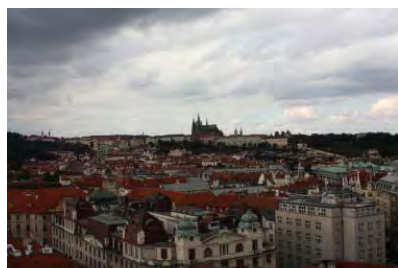
課題は、プラハの代表的人物や、旧市街の建物や場所に関する課題などでした。また、絵はがきを1人ずつチェコ語で購入したり、昼食をレストランで注文して食べたり、施設の入場券を購入するような課題もありました。普段、保護者の方と行動することが中心の子どもたちにとっては、レストランのメニューを自分で読んだり、自分たちで駅などを確認しながら公共交通機関を利用するという経験もまだまだ少なく、緊張の連続だったようです。2学期は、このほかにも近隣校との交流、プラハ市立図書館ホールでの学習発表会、クリスマスマーケット見学など校外に出て活動する行事も多く、子どもたちもとても楽しみにしています。



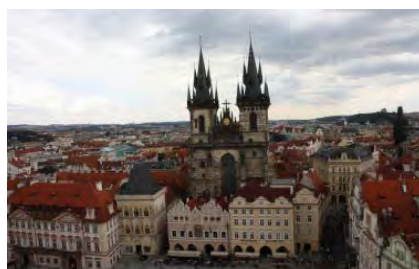
旧市街



カレル4世の銅像



旧市街広場から見た景色



ティーン教会